



## ホークス交流継続を確認

松浦市と北海道鷹栖町が4月17日、鷹島支所で「ホークス親善友好提携の証」を取り交わしました。

松浦市に合併する以前から鷹島町と鷹栖町は「鷹」つながりで平成8年から交流し、小学生の相互訪問を実施。互いの環境の違いや地域文化の違いの体験を通じた青少年の育成に取り組んでいます。

この日は、鷹島肥前大橋の開通を機に鷹栖町との交流を市内全域に広め、今後も継続することを確認し、友広市長と鹿野正巳鷹栖町副町長が調印。鹿野副町長は「人と人とのぬくもりを感じられる交流が、より有意義な交流として進展することを望みます」と話し、友広市長と握手を交わしました。

## 道の駅「鷹ら島」がオープン

元寇・ロマンの郷 道の駅「鷹ら島」オープン式が4月17日、鷹島肥前大橋のたもとにある同施設で行われました。

同施設は、市が建設し、地元の各種団体や出資者などでつくる鷹島物産(株) (板谷國博代表取締役) が指定管理者となって経営。鉄筋コンクリート平屋約650平方<sup>メートル</sup>の施設に、鮮魚や水産加工品などの販売スペースと魚島来めし<sup>おとこ</sup>などを提供するレストランなどがつくられています。式では国土交通省長崎河川国道事務所・牧野浩志所長から友広市長に県内9カ所目となる道の駅の登録証が伝達され、テープカットが行われました。

牧野所長は「道の駅は道路利用者の休憩だけでなく、観光情報発信、地産地消、防災などの目的があります。当施設は橋のたもとというロケーションの良さがあるので、豊富な歴史資源・食資源と結びつけ、特色ある道の駅として活用してください」と話しました。



## 福岡ソフトバンクホークスと交流を宣言

松浦市とプロ野球福岡ソフトバンクホークスが4月17日、鷹島モンゴル村で総合交流を宣言しました。

市は、鷹島肥前大橋開通を機に「鷹」つながりで福岡ソフトバンクホークスとスポンサー契約を結び、本市のPRと交流人口の拡大を目指しています。

友広市長とホークス竹内孝規常務は、交流宣言書を取り交わした後、同施設の広場に建立された鷹島肥前大橋開通記念モニュメント(通称「必勝モニュメント」)の除幕を行いました。

「勝鷹<sup>かちたか</sup>」「攻鷹<sup>せめたか</sup>」「守鷹<sup>まもりたか</sup>」の3羽の鷹のモニュメントは、全体の幅が約6<sup>メートル</sup>、高さが約3.8<sup>メートル</sup>の阿翁石製。王貞治<sup>きこう</sup>会長が揮毫した「必勝」の文字が彫り込まれています。

# まちの話題





# 鷹島肥前大橋が開通



①

## 六本幟や漁船パレードで歓迎

本市鷹島町と唐津市肥前町を結ぶ鷹島肥前大橋で4月18日、開通式が行われました。

鷹島肥前大橋は、長さ1,251メートル、高さ105メートルの2本の主塔からケーブルで橋げたを支える斜張橋。2本の主塔間は400メートルで、斜張橋としては長崎市の女神大橋に次いで九州で2番目の長さになります。

開通式には長崎・佐賀両県の関係者など約400人が出席。唐津市肥前文化会館で式典が行われた後、大橋の肥前町側でテープカットとくす玉割り(写真①)をし、開通を祝いました。セレモニーが終わると、鷹島町と肥前町の家族4組が三代渡り初め(写真②)を実施。鷹島町では県の無形民俗文化財に指定されている「島踊(六本幟・写真③)」や海上では漁船約60隻による漁船パレード(写真④)などを行って、橋の開通を祝い、鷹島を訪れた人々を歓迎しました。



②



③



④